

編 集 後 記

本号から大幅に編集様式が変わりました。第一に雑誌名が東日本歯学雑誌から北海道医療大学歯学雑誌へ、第2に今までB5版であった雑誌がA4版に、第3に本文中と引用文献の書式の様式などが変更になりました。頑なに昔のままでも問題はなかったのですが、雑誌名の変更を機会に多少紙面をできるだけ見やすいように、論文が書きやすいように、修正しやすいように、などと考えて雑誌の大幅な変更となった次第です。これが最も良いものとは思っていませんので今後、会員の皆様のご助言をいただきながらより良い雑誌にしたいと思っておりますので宜しくお願いします。

口腔解剖学教室の武田正子教授にお願いして歯学雑誌の創刊の目的、名称変更らの歴史を巻頭言に書いていただきました。武田先生は来年3月をもって定年退官予定です。昭和54年から医療大（前身は東日本学園大学）に奉職され丸26年間、医療大で講義をなされて、医療大の基礎教育の礎を作られました。

本号には総説、原著論文と臨床報告、さらにシステムチックレビューの14編が収録されております。このように多数の論文が投稿されていることは編集長としては大変うれしい次第です。ただ今回も私の努力不足、能力不足で予定の発行日（6月30日）を大きく遅れてしまったことをお詫び申し上げます。次回からは投稿者にもっと厳しく対応して迅速な編集をしたいと思っておりますので御協力をお願いします（和泉博之）